
低濃度PCB廃棄物の処理体制の整備及び処理の状況

令和6年3月29日



環境省 環境再生・資源循環局 ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室

低濃度PCBの処理体制の整備状況

無害化処理事業者の認定／許可の状況

【令和6年3月1日現在の状況】

(1)無害化処理認定(大臣認定)

事業者数 31事業者

◎焼却方式(還元熱化学分解方式含む)

23事業者

(内、筐体処理:15事業者)

◎洗浄方式 8事業者

(内、分解・洗浄方式:2事業者)

移動式 6事業者

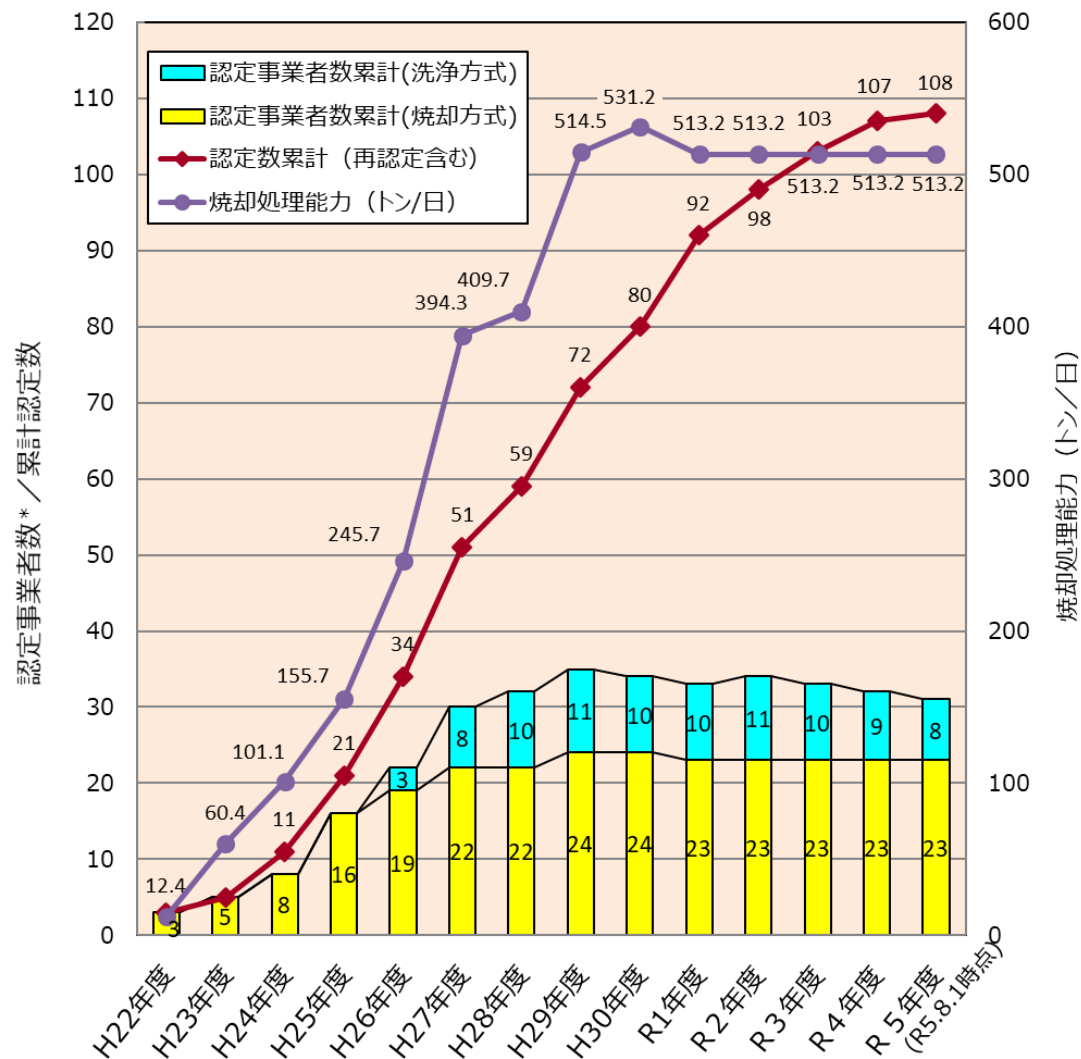
固定式 2事業者

(2)都道府県市の長の許可

事業者数 2事業者

◎焼却方式 2事業者

(内、筐体処理:1事業者)



無害化処理認定数及び微量PCB汚染廃電気機器の焼却処理能力推移 (県許可を含む)

(参考) 低濃度PCB廃棄物の無害化処理施設 《焼却方式等》

認定: 23施設
 許可: 2施設
 (筐体を処理可能な施設は15施設)

(令和6年3月1日現在)

◎エコシステム山陽(株)
 ※岡山県知事許可施設
 油・**筐体**・汚染物

光和精鉱(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎三池製錬(株)
 汚染物

◎オオノ開発(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎神戸環境クリエート(株)
 油・汚染物

(株)富士クリーン
 油・**筐体**・汚染物

三光(株)
 油・**筐体**・汚染物

環境開発(株)
 油・汚染物・ドラム缶

ユナイテッド計画(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎(株)富山環境整備
 油・**筐体**・汚染物

(株)ジオレ・ジャパン
 油

エコシステム小坂(株)
 汚染物

◎エコシステム秋田(株)
 油・**筐体**・汚染物

(株)太洋サービス
 油・**筐体**・汚染物

三重中央開発(株)
 ※三重県知事許可施設
 油・汚染物



JX金属苫小牧ケミカル(株)
 油・**筐体**・汚染物

東京鐵鋼(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎(株)クレハ環境
 油・**筐体**・汚染物

◎日本製紙勿来クリーンセンター(株)
 (還元熱化学分解方式) 汚染物

日重環境(株)(旧赤城鉱油(株))
 油・**筐体**・汚染物

群桐エコロ(株)
 油・**筐体**・汚染物

杉田建材(株)
 油・**筐体**・汚染物

エコシステム千葉(株)
 油・汚染物

J&T環境(株)(旧JFE環境(株))
 油・汚染物

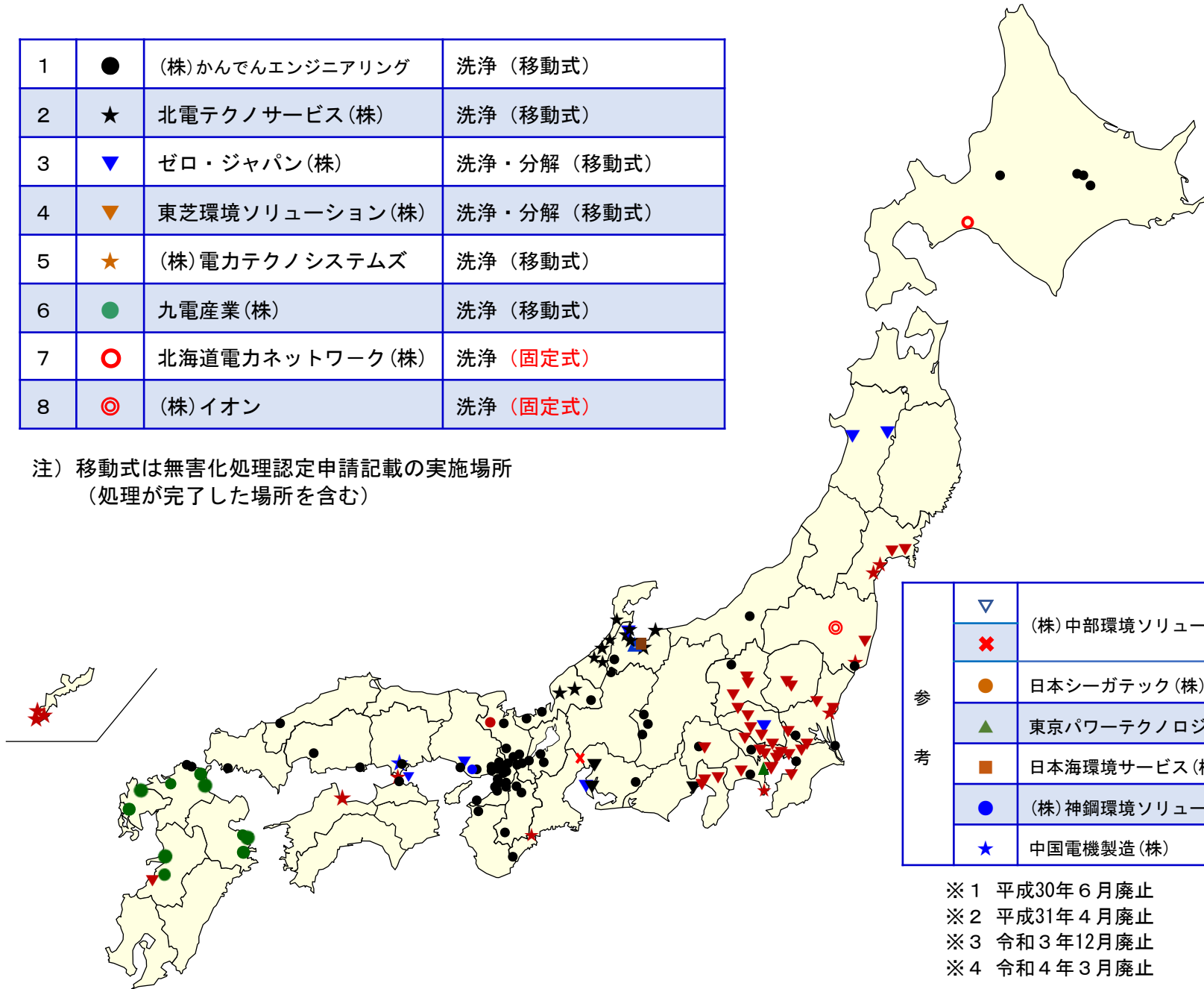
油: 低濃度PCB廃油
筐体: 微量PCB汚染廃電気機器等の容器及び内部部材等
 汚染物: 低濃度PCB汚染物及び処理物
 ◎: 5,000mg/kg超の低濃度PCB汚染物を処理可能な施設

■ : 筐体の処理が可能な事業者

(参考) 低濃度PCB廃棄物の無害化処理施設 《洗浄方式》

1	●	(株)かんでんエンジニアリング	洗浄 (移動式)
2	★	北電テクノサービス(株)	洗浄 (移動式)
3	▼	ゼロ・ジャパン(株)	洗浄・分解 (移動式)
4	▼	東芝環境ソリューション(株)	洗浄・分解 (移動式)
5	★	(株)電力テクノシステムズ	洗浄 (移動式)
6	●	九電産業(株)	洗浄 (移動式)
7	○	北海道電力ネットワーク(株)	洗浄 (固定式)
8	◎	(株)イオン	洗浄 (固定式)

注) 移動式は無害化処理認定申請記載の実施場所
(処理が完了した場所を含む)



参 考	▼	(株)中部環境ソリューション	洗浄 (移動式) ※ 1
	×		洗浄 (固定式) ※ 2
	●	日本シーガテック(株)	洗浄 (移動式) ※ 3
	▲	東京パワーテクノロジー(株) (川崎市許可)	洗浄 (固定式) ※ 4
	■	日本海環境サービス(株) (富山市許可)	分解 (固定式) ※ 5
	●	(株)神鋼環境ソリューション	洗浄 (移動式) ※ 6
	★	中国電機製造(株)	洗浄 (移動式) ※ 7

※ 1 平成30年6月廃止
 ※ 2 平成31年4月廃止
 ※ 3 令和3年12月廃止
 ※ 4 令和4年3月廃止

※ 5 令和4年3月廃止
 ※ 6 令和4年10月廃止
 ※ 7 令和5年7月廃止
 (令和6年3月1日現在)

低濃度PCB廃棄物等の処理の進捗状況

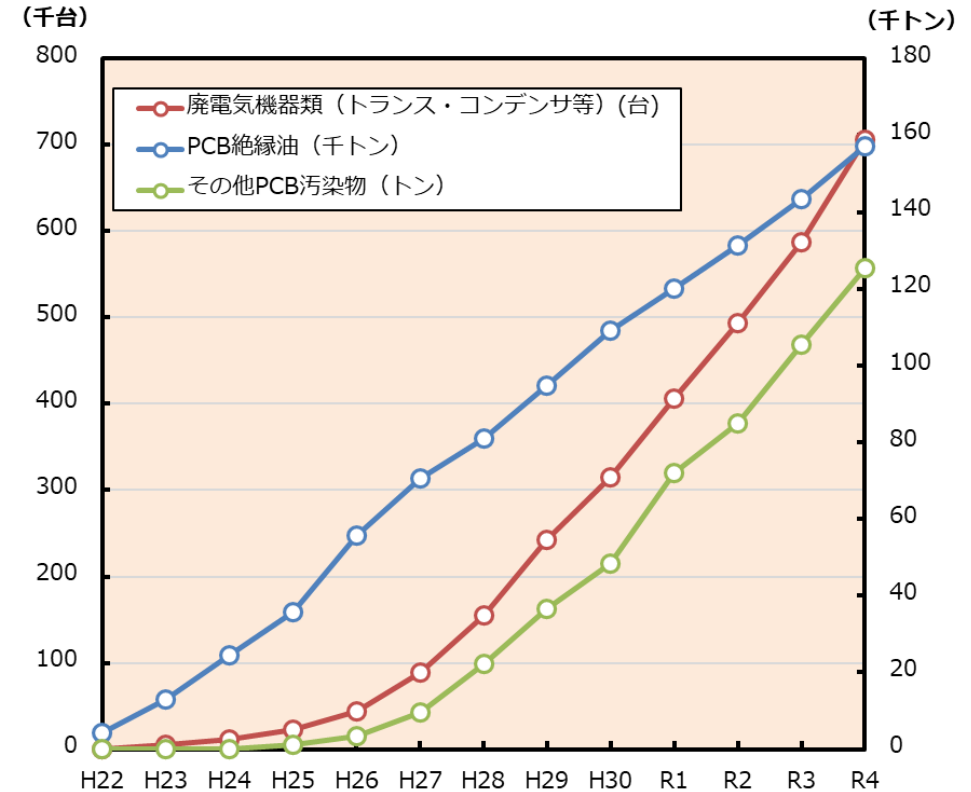
- 令和9年3月末に向けて、低濃度PCB廃棄物の処理を実施中
- 引き続き、今後の低濃度PCB廃棄物処理体制（焼却処理施設25カ所、洗浄施設8カ所）の維持に向けた取組・検討を進める。※処理体制は令和6年3月1日時点

●低濃度PCB廃棄物の処理状況

【令和4年度末における処理実績（無害化処理事業者）】

- (1) PCB絶縁油：13,785t
- (2) 廃電気機器類（トランス・コンデンサー等）
：118,669台
- (3) その他汚染物：19,918t + ドラム缶21,365本

令和4年度末 処理実績	令和4年度末 処理実績 (累計)
約119千台	約706千台



無害化処理認定施設における絶縁油、廃電気機器、汚染物(ドラム缶を除く)の処理実績累計 (令和4年度末時点)※大臣認定施設のみ

PCBを含有する汚染物（PCB濃度5,000ppm～10万ppm）の処理実績

- 令和元年12月に、PCBを含有する汚染物（PCB濃度5,000ppm～10万ppm）の処理体制の構築を目的とし、環境大臣の無害化処理認定施設等の処理対象を拡大するため、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画を変更（閣議決定）するとともに、関係法令を改正（公布）し、可燃性の汚染物等について10万ppmまで焼却範囲を拡大した。
- 各事業者における処理状況は以下の通り。

PCBを含有する汚染物（PCB濃度5,000ppm～10万ppm）の処理実績（kg）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (2月末時点)	合計
A社	176,301	268,095	197,975	52,840	695,211
B社	19,891	74,332	4,503	7,106	105,832
C社	9,667	72,384	119,186	14,534	215,771
D社	0	23,262	11,402	10,142	44,806
E社	0	13,689	36,757	33,273	83,719
F社	0	0	0	6,882	6,882
G社	0	0	0	90,905	90,905
合計	205,859	451,762	369,823	215,682	1,243,126

PCBを含有する汚染物（PCB濃度5,000ppm～10万ppm）の処理を実施した 処理施設の排ガス等のモニタリング結果（令和5年度）



事業者	項目	PCB				ダイオキシン類			
		最小	最大	管理濃度	(単位)	最小	最大	管理濃度	(単位)
A社	排ガス	1.7	4.7	100000	(ng/m ³ N)	0.00015	0.0019	0.1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	不検出		不検出	(mg/L)	0.0008	0.0043	4	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	定量下限値未満		0.003	(mg/L)	0.00021	0.044	3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	定量下限値未満		0.003	(mg/L)	0.015	0.098	3	(ng-TEQ/g)
B社	排ガス	11	100	10000	(ng/m ³ N)	0.12	0.59	1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	0.00000028	0.00000046	0.003	(mg/L)	0.13	0.24	10	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	<0.0005		0.003	(mg/L)	0.02	0.05	3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	<0.0005		0.003	(mg/L)	0.011	0.2	3	(ng-TEQ/g)
C社	排ガス	1.6	39	10000	(ng/m ³ N)	0.013		0.1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	—*3		—*3	(mg/L)	—*3		—*3	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.0071	0.086	3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.18	1.1	3	(ng-TEQ/g)
D社	排ガス	3.3	8.1	10000	(ng/m ³ N)	0.0410	0.046	1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.014	0.034	10	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.00005	0.0007	3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.0098	0.044	3	(ng-TEQ/g)
E社	排ガス	240	590	10000	(ng/m ³ N)	0.000063	0.041	0.1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.046	0.054	10	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	0.0005未満		—	(mg/L)	0.1未満		3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	0.0005未満		—	(mg/L)	0.34	0.63	3	(ng-TEQ/g)
F社	排ガス	0.35	3.1	8000	(ng/m ³ N)	0	0.0000014	0.08	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	<0.0003	<0.0005	0.0005	(mg/L)	0.042	2.4	8	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	0.1未満	0.3 *2	0.5	(mg/kg)	0.0000054	0.0054	1	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	—*4	—*4	—*4	(mg/L)	—*4	—*4	—*4	(ng-TEQ/g)
G社	排ガス	4.3	15	100000	(ng/m ³ N)	0.041	0.086	0.1	(ng-TEQ/m ³ N)
	排水	—*5		—*5	(mg/L)	—*5		—*5	(pg-TEQ/L)
	燃え殻	0.0005未満		0.003	(mg/kg)	0.0015	0.041	3	(ng-TEQ/g)
	ばいじん*1	0.0005未満		0.003	(mg/L)	0.23	0.48	3	(ng-TEQ/g)

*1 ばいじんの測定データについては、脱水ケーキを含む。 *2 最大と最小のデータを比較した際に、最大値が定量下限値の測定値となっている。
 *3 焼却工程で排水を全量噴霧焼却処理するため、排水の発生がないことから管理濃度が設定されていない。
 *4 加熱分解装置で分解し発生した粉塵は噴霧処理ではたきおすため、ばいじんは発生しない。
 *5 事業場内で発生した汚水は排水処理施設において処理し、場内で再利用され公共用水への排水がないため、管理濃度が設定されていない。

課電自然循環洗浄法の実施状況

- 課電自然循環法により、平成27年度（実施年度）以降に2,219件のPCB含有電気工作物（変圧器）の洗浄または一部洗浄を実施した。
- 令和5年度は12月末までに308件（311台）の洗浄処理を実施した。
- CDP洗浄法の追加適用に関する省令改正に向けたパブリックコメントを実施し、令和6年度からCDP洗浄法の適用を開始する。

課電自然循環洗浄法の実施状況（平成27年度以降）

実施年度	件数（台数）	
平成27～30年度	101件	（118台）
令和元年度	431件	（468台）
令和2年度	415件	（456台）
令和3年度	443件	（494台）（※）
令和4年度	521件	（515台）（※）
令和5年度 （12月末時点）	308件	（311台）
累計	2,219件	（2,362台）

（※）令和3年度に1件（1台）、令和4年度に13件（13台）の届出漏れがあったため、第32回検討会で報告した件数・台数から増加している